

令和元年 相次ぐ大型台風による全国各地の被災者の皆様にご見舞い申し上げます

一般財団法人 日本遺族会

令和2年度遺族処遇改善項目

【令和元年8月31日 概算要求】

◎恩給法関係
総務省政策統括官(恩給担当)は、恩給を支給するための必要経費として、次の通り概算要求をした。
◎恩給費(単位:百万円)

本年度予算額	198,000	概算要求額	167,100 (1,671億円)	比較増減	△30,900
--------	---------	-------	-------------------	------	---------

(注) 恩給受給者数 (令和元年年度) (令和2年度) (対前年度増△減)
恩給受給者 272千人 → 231千人 △41千人
令和2年度の恩給年額については、令和元年度(平成31年度)と同水準で計上

◎厚生労働省関係
(恩給に関連する遺族年金等を除く)
1. 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給 (支給事務経費)
本年度予算額 5億3,700万円 → 概算要求額 12億2,800万円 (支給対象件数 約85万件)
2. 遺骨収集事業等の推進
本年度予算額 23億6,100万円 → 概算要求額 29億6,900万円
(1) 硫黄島遺骨収集事業
本年度予算額 13億5,900万円 → 概算要求額 13億6,400万円
・ 沿走路地区の面的調査等
(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集事業
本年度予算額 7億5,500万円 → 概算要求額 10億4,700万円
ア 現地調査及び埋葬地調査
本年度予算額 3億2,600万円 → 概算要求額 5億円
【実施地域】①フィリピン(5班→8班) ②東部ニューギニア(6班→7班) ③ビスマック・ソロモン諸島(ブゲンビル島・ガダルカナル島等)(6班→7班) ④マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島)(3班→6班) ⑤マーシャル諸島(新規2班) ⑥インド(1班→4班) ⑦その他南方地域(新規3班) ⑧インドネシア(5班) ⑨パラオ諸島(2班) ⑩ミャンマー(5班) ⑪旧ソ連地域(9班→10班)
イ 遺骨収集
本年度予算額 3億2,000万円 → 概算要求額 4億1,700万円
・ 派遣体制の強化に伴う増
【実施地域】①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマック・ソロモン諸島(ブゲンビル島・ガダルカナル島等) ④インドネシア ⑤パラオ諸島 ⑥マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島) ⑦トラック諸島 ⑧マーシャル諸島 ⑨ギルバート諸島 ⑩ミャンマー ⑪インド ⑫樺太 ⑬沖縄 ⑭硫黄島 ⑮その他南方地域
旧ソ連地域(⑯ハバロフスク地方 ⑰沿海地方 ⑱ザバイカル地方)
ウ 法人運営経費
本年度予算額 1億2,700万円 → 概算要求額 1億3,000万円
(3) 海外公文書館の資料収集
本年度予算額 2,300万円 → 概算要求額 1,700万円
(4) 遺骨の鑑定
本年度予算額 1億9,100万円 → 概算要求額 5億700万円
ア 鑑定実施体制の充実
本年度予算額 1億8,300万円 → 概算要求額 3億4,000万円
(イ) DNA鑑定に係る体制の充実
本年度予算額 1億4,800万円 → 概算要求額 2億4,000万円
・ DNA鑑定料の引き上げ
(ロ) 戦没者遺骨専用のDNA鑑定機器の導入
(ハ) 形質人類学的鑑定に係る体制の充実
本年度予算額 3,500万円 → 概算要求額 9,900万円
・ 令和2年度からは、遺骨鑑定人を、遺骨収集に加え現地調査及び埋葬地調査にも派遣
イ 戦没者遺骨に関する研究の推進
本年度予算額 800万円 → 概算要求額 1億6,800万円
・ 図 次世代シーケンシングによるSNP分析に係る研究委託
・ 図 形質人類学的鑑定に係る研究委託
・ 安定同位体比分析に係る研究委託
(5) 遺骨・遺留品伝達
本年度予算額 3,300万円 → 概算要求額 3,400万円
内、戦没者遺留品の返還に伴う調査一式 1,200万円
3. 戦没者慰霊事業等
本年度予算額 5億7,200万円 → 概算要求額 5億9,400万円
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費
本年度予算額 1億5,100万円 → 概算要求額 1億6,200万円
・ 団員負担率引上げの増員(各都道府県55名→60名)
(2) 慰霊巡拝等
本年度予算額 4億3,500万円 → 概算要求額 4億3,300万円
ア 慰霊巡拝
本年度予算額 1億円 → 概算要求額 9,800万円
【慰霊巡拝実施地域】①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマック・ソロモン諸島(ブゲンビル島・ガダルカナル島等) ④トラック諸島 ⑤インドネシア ⑥ミャンマー ⑦中国 ⑧硫黄島 ⑨旧ソ連地域等 ⑩ハバロフスク地方 ⑪沿海地方 ⑫イルクーツク州・プリヤート共和国 ⑬カザフスタン
イ 政府建立慰霊碑の補修等
本年度予算額 5,400万円 → 概算要求額 5,400万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理
本年度予算額 2,200万円 → 概算要求額 2,200万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑
本年度予算額 1,000万円 → 概算要求額 1,000万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑
本年度予算額 1,200万円 → 概算要求額 1,200万円
エ 戦没者遺見による慰霊友好親善事業
本年度予算額 2億5,900万円 → 概算要求額 2億5,900万円
・ 広域地域 14地域 → 14地域
・ 特定地域 3地域 → 3地域
・ 人員 広域792人及び特定地域108人
3. 昭和館事業
本年度予算額 4億8,000万円 → 概算要求額 6億1,100万円
(1) 昭和館の運営に係る経費
本年度予算額 4億8,000万円 → 概算要求額 5億100万円
(2) 昭和館設備の特別修繕に係る経費
本年度予算額 0円 → 概算要求額 1億1,100万円

財務省は、八月三十日に提出された各省庁の令和2年度概算要求の総額を百四兆九千九百九十八億円と発表した。

財務省は、八月三十日に提出された各省庁の令和2年度概算要求の総額を百四兆九千九百九十八億円と発表した。

財務省は、八月三十日に提出された各省庁の令和2年度概算要求の総額を百四兆九千九百九十八億円と発表した。

令和2年度 政府予算 次年度の概算要求 総力結集して運動を展開

財務省は九月五日、各省庁が提出した令和2年度政府予算の概算要求総額を発表した。一般会計の総額は百四兆九千九百九十八億円となり、六年連続で百兆円を超え、これまで過去最大だった平成三十一年度要求額を二兆二千三百四十億円上回った。本会関係では、特別弔慰金の支給に係る支給事務費など、要望事項がほぼ盛り込まれた。

望事項がほぼ盛り込まれている。特に、遺骨の鑑定などに係るDNA鑑定機器の導入経費や、遺骨鑑定人の現地調査費用、戦没者遺骨に関する研究の推進として形質人類学的鑑定(注・人骨の形態を基に性、年齢、祖先集団などを判定する手法)に係る費用などが大幅に盛り込まれた。

水落会長が内閣委員長に

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

十月四日、第200回国会が召集され、参議院は常任委員長十五人、特別委員長七人、調査会長四人を参議院本会議において

水落議員の益々の活躍が期待される。



水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

日本遺族通信

令和元年10月15日
第826号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に
参議院本会議で
水落会長が内閣委員長に

声なき声

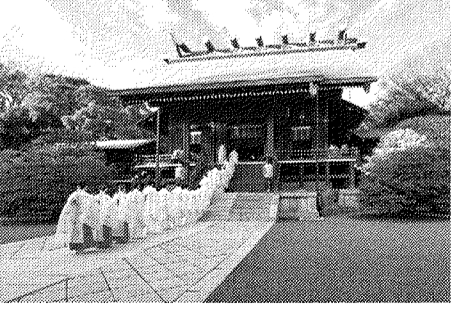
みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会があることはご承知であろう。この会は、今から38年前の昭和56年3月18日に、自民党の村上正邦参議議員の提唱で誕生した。その趣旨は「世界のいずれの国においても、英霊に対し尊崇感謝の誠を捧げ、敬意を尽くしている。この際、われわれは一切の立場を越えて、少なくとも国会に携わる者が、率先して靖国神社に参拝し、二百五十万英霊に対し心からの感謝の誠を捧げたい」ということで、衆参国会議員259人が参加して発足、会長に竹下登衆議院議員が就任した。同年4月22日の春の例大祭には、バス2台に分乗した衆参国会議員213人が第一回参拝を行った。マスコミは批判的に取上げ、反対のキリスト教のグループは靖国神社に押しかけた。(本紙第364号、「靖国公式参拝の総括板垣正者」と、ある。▼その後、春秋の例大祭、8月15日の戦没者を追悼し平和を祈念する日には、衆参国会議員が揃って靖国神社に参拝している。▼靖国神社は10月17日から20日まで秋季例大祭並びに御創立百五十周年記念大祭を迎える。国の代表である内閣総理大臣をはじめ各閣僚、衆参国会議員が一人でも多く靖国神社に参拝される事を期待する。(M)

令和二年版 靖国カレンダーを 家庭にかかげましょう

申し込み方法
維持会費(一〇五〇円)(送料別途)を添えて

①英霊にこたえる会靖国カレンダー業務室(〒一〇二一〇〇七三 東京都千代田区九段北三一一一 靖国神社遊就館内) 電話〇三一一三六四一四六・FAX〇三一一三二六一七四一五
http://veirenikotaeruukai.comのいずれか

②別途申込書で、お住まいの「英霊にこたえる会都道府県本部」宛てお申し込みください。送料は、前記「都道府県本部」または「靖国カレンダー業務室」にお問い合わせ下さい。



1-2月 御本殿へ参進する神職の方々

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

送付先
維持会費は、左記宛に送金願います。
郵便局 郵便振替
口座番号 〇〇一六〇一―七〇四
口座名 英霊にこたえる会
靖国カレンダー業務室

事務局長・職員研修会で 懸案事項解決に向け意見交換

九月二十五、二十六日の両日、青森県遺族連合会が主体となり、青森市の「ホテル青森」に全国二十八都道府県から四十三人が参加し、令和元年度支部事務局長・職員研修会を開催。英霊顕彰・処遇改善運動や今後の遺族会を考える特別委員会アンケート結果、遺骨収集、青年部の活動等、遺族会に山積する懸案事項について活発な意見が交わされた。

全国の事務局長・事務局職員、本会から畔上和男専務理事ら四十三人が参加して、令和元年度支部事務局長・職員研修会が九月二十五、二十六日の両日開催された。

開会式では、はじめに、畔上和男専務理事が水落敬栄会長に代わり挨拶に立ち、「令和に入つての初めての研修会となりますが、今回は二十八都道府県の方々にご参加いただき感謝いたします。それぞれ支部においても、実務、運営等まさに事務局の皆様が要であります。しっかりと種々、情報共有しながら各支部の遺族会の発展と、日本遺族会の今

後の事業等々にご理解、そして「尽力賜れば幸いです」と述べた。続いて、山田周二(宮城県)事務局長協議会幹事長が挨拶。また、齋藤文昭(青森県)理事長が挨拶した。

研修会は山田幹事長が座長となり進められ、英霊顕彰運動、処遇改善運動、今後の遺族会を考える特別委員会アンケート結果等が議題としてあり、特に青年部の活動や遺骨収集の今後について多くの質問があり、意見が交わされた。最後に、遺族会の運営等、より一層難しい状況が予測されることから、引き続き本部・支部が連携強化を図り、懸案事項解決に取り組んでいくことを再確認し研修会は終了した。

夕刻から開催した懇親会には、東京から水落会長が駆け付けた。参加者はそれぞれの支部が抱える問題等について意見を交換し親睦を深めた。



事務局長・職員研修会で挨拶する齋藤文昭青森県遺族連合会理事長=9月25日、ホテル青森で

旧ソ連で42柱を収容

ハバロフスク・ゴリニン
カザフスタン・サラニイ村で

日本戦没者遺骨収集推進協会は、八月十九日から九月三日の期間、旧ソ連地域のハバロフスク地方及びカザフスタン共和国で遺骨収集を実施し、本会も参加協力を行い両地域から四十二柱の遺骨を収容し帰還した。

旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集ハバロフスク地方第二次派遣は、去る七月に実施した第一次派遣に引き続き、コムソモリスクから北へ車で三時間程に位置するソールネチナイ地区ゴリニン村の第四九三野戦病院ゴリニン居住地墓地、並びに第五收容所第四九三野戦病院墓地で作業に従事した。埋葬地は、木々に囲ま

れた広い草むらの平地になつており、重機により筋掘りし手作業で掘削を行う作業が進められ、三十四柱を収容した。カザフスタン共和国派遣では、リッデル市地区第三四七收容所レノゴルスク市、及びカラガン

ダのブルハ・ジラウスキー地区第九九收容所第一四支部サラニイ村の埋葬地において収集作業を行った。リッデル市は、主要都市カラガンダより東へおおよそ八百キロの山間部。柵で囲われ草木が生い茂る埋葬地は、ドイツ人墓地と隣接することから慎重に試掘作業が進められたが、遺骨収容には至らなかった。

サラニイ村の埋葬地は、カラガンダ郊外西へ三十キロの、地平線が広がる人里離れた広大な草原地帯。気温が氷点下に近い状況での厳しい作業となつたが、八柱を収容した。両派遣団は、九月四日千鳥ヶ淵戦没者墓苑で関係遺族等に出迎えられる中、遺骨引渡式が行われ厚生労働省職員に遺骨を引き渡した。

東部ニューギニア現地調査第三次派遣は、八月二十四日から九月七日の期間で実施した。派遣団は、ミルンベイ州アロタウ、オロ州ポボンデッタ、バゴウ、クンバタ、ゴラリ、ココダ周辺等で調査を行った。パラオ諸島

パラオ諸島現地調査第三次派遣は、九月四日から十七日の期間で実施した。派遣団は、アンガウル

島班とペリリュー島班に分かれ調査。アンガウル島班は、北西部高地(ヒナンバ)、レッドビーチ、青池南側、日本人墓地、サイパン日本人墓地、及び三つ子島で調査を行った。ペリリュー島班は、中

の台及び周辺地域(第二次派遣より継続)、ワイルドキャットボウル北側、オレンジビーチの周辺、オレンジビーチの周辺、及びゲドブス島で調査を行った。なお、ペリリュー州政府に一時保管していた、検体用未焼骨遺骨を受領し日本へ送還した。

インド等四地域で調査 未送還の遺骨情報収集

日本遺族会では、日本戦没者遺骨収集推進協会(JARRWC)が実施している、海外に未だ残されている未送還の遺骨情報収集等を行う現地調査に、参加協力した。

東部ニューギニア現地調査第三次派遣は、八月二十四日から九月七日の期間で実施した。派遣団は、ミルンベイ州アロタウ、オロ州ポボンデッタ、バゴウ、クンバタ、ゴラリ、ココダ周辺等で調査を行った。パラオ諸島

パラオ諸島現地調査第三次派遣は、九月四日から十七日の期間で実施した。派遣団は、アンガウル

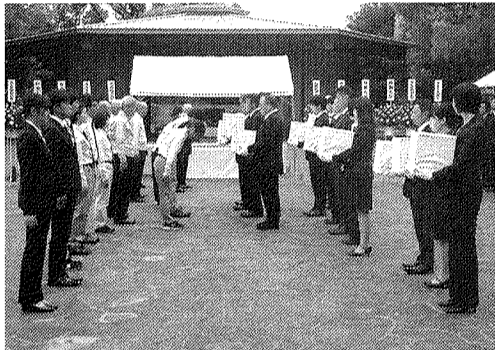
島班とペリリュー島班に分かれ調査。アンガウル島班は、北西部高地(ヒナンバ)、レッドビーチ、青池南側、日本人墓地、サイパン日本人墓地、及び三つ子島で調査を行った。ペリリュー島班は、中

の台及び周辺地域(第二次派遣より継続)、ワイルドキャットボウル北側、オレンジビーチの周辺、オレンジビーチの周辺、及びゲドブス島で調査を行った。なお、ペリリュー州政府に一時保管していた、検体用未焼骨遺骨を受領し日本へ送還した。

インド現地調査第二次派遣は、九月八日から二



氷点下に近い厳しい状況で収集作業に従事する団員=8月30日、カラカンダ郊外のサラニイ村で



両派遣団から厚生労働省職員に遺骨が引き渡される=9月4日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

九月五、六日の両日、鳥取市の「ホテルモナーク鳥取」で五十一人が出席して第四ブロック会議が開催された。さらに同月十九、二十日の両日に、佐賀市の「ホテルグランド」で四十七人が出席して第五ブロック会議が開催された。本会からは市来健之助副会長、畔上和男専務理事、盛川英治事務局長らが出

席した。両会議では、特別弔慰金の支給範囲の要望や各県における財政、組織、処遇問題等について報告があった。また各青年部長等から青年部の活動状況等の説明もあった。各県の報告を受けて、何れも今後の遺族会を運営していく中で重要な問題であり白熱した議論が交わされた。本会が検討して

白熱した議論が交わされる
ブロック会議



第5ブロック会議で白熱した議論が交わされる=9月19日、佐賀市で

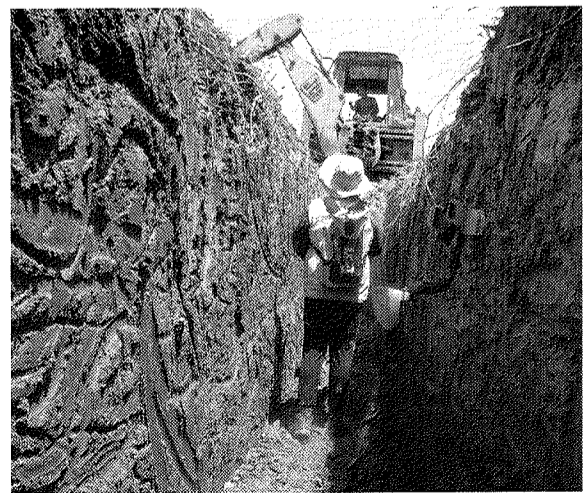
「今後の遺族会を考える特別委員会」の来年五月の答申に向けて反映されるよう報告された。

第四次安倍再改造内閣 自民党三役も

安倍晋三内閣総理大臣は九月十一日、第四次安倍再改造内閣と自民党役員人事を行った。閣僚十九人のうち、ポストの変更を含めて十七人が交代する大幅改造となった。初入閣は安倍内閣で最多の十三人に上った。

総理は記者会見で、新しい時代の国づくりを力強く進めていくための布陣を整えた。「安定と挑戦の内閣」だと述べた。なお、総務大臣に高市早苗氏(奈良二区)、厚生労働大臣に加藤勝信氏(岡山五区)が就任した。

本会関係では衛藤晟一氏(参比例)が沖縄北方一億総活躍大臣に、橋本聖子氏(参比例)が五輪・女性活躍大臣に初入閣した。自民党役員人事では幹事長に二階俊博氏(和歌山三区)、政調会長に岸田文雄氏(広島一区)が再任された。総務会長区が新たに就任した。



重機による試掘作業を行い遺骨搜索する団員=9月15日、インパルで

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

賛助金のお振込みは

● 郵便振替 00130-2-694929
● みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイ）ニホンイソクカイ」

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

好事業 友善 慰親 靈善 親善

ソロモン諸島を訪問 西部ニューギニア渡航中止

日本遺族会主催の慰霊友好親善事業で九月十八日から二十五日まで、ソロモン諸島地域を実施。亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、植林活動や現地の方々の友好親善を行った。なお、九月出発の西部ニューギニア訪問は一部の地域でデモや大規模な暴動が発生したため渡航中止を余儀なくされた。

宇田川親雄本会副会長(東京都遺族連合会会長)を団長とするソロモン諸島慰霊友好親善訪問団は、九月十八日全団九府

港を出発し翌朝オーストラリア・ブリスベーンを経由してソロモン諸島の首都、ガダルカナル島のホニアラに歩を印した。二十日には船舶をチャーターしてツラギ島



慰霊碑前で亡き父に語りかける団員 = 8月20日、ツラギ島で

の南埠頭に着岸し、慰霊の南埠頭に設置して慰霊祭、故郷から持参した品々を供えて亡き父に語りかけた。復路ではツラギ攻略隊に参加し、昭和十七年五月五日、米空母



ナハSD小学校で大縄跳びを楽しむ児童ら = 8月23日、ホニアラで

機は爆撃を受け同地で沈没した駆逐艦「菊月」に合掌し黙禱を捧げた。二十一日はホニアラ以東の激戦地、岐阜高地で慰霊追悼を行った。二十二日にはカミンボ



沈没した駆逐艦「菊月」に合掌し黙禱を捧げる団員ら = 8月20日、ツラギ島付近の洋上で

エスベランス岬、コカノボナと昭和十八年一月、戦況不利により撤退を余儀なくされた地域周辺の島西方で慰霊祭を行い積年の思いを語りかけた。二十三日、友好親善の一環として、ホニアラの赤十字医療特別支援セン

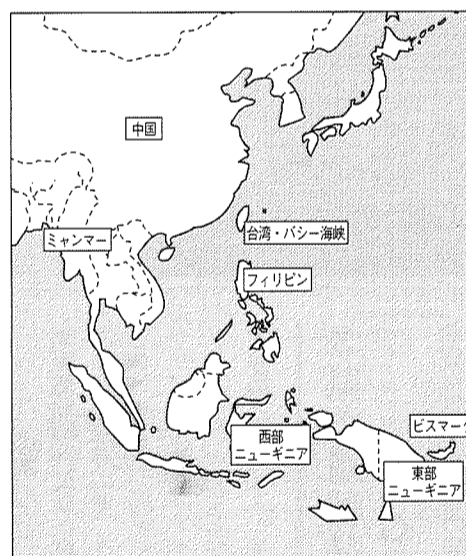
ターを訪問し車椅子を、ナハSD小学校ではスポーツ用品や学用品と衣類等を寄贈、記念植樹も行うなど民間外交に努めた。午後からはアウスステン山の戦没者慰霊碑にて在ソロモン日本国大使館職員との参列のもと全戦没者追悼式を挙行し哀悼の誠を捧げた。同夜にはナハ小学校の校長や児童を招いて懇談会を開催し、所期の目的を果した一行は、二十五日無事帰国の途に着いた。

遺児の参加者募集

慰霊友好親善事業

募集要項はつぎのとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手に配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国

時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。
▼参加資格 戦没者の遺児。平成三十年参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目全てに記入を要するの



実施概要

(広域地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 台湾・パシフィック	令和2年 2月3日~2月9日	30人	令和元年 12月3日
2 ビスマルク諸島	令和2年 2月12日~2月19日	40人	令和元年 12月12日
3 マーシャル・ギルバート諸島	令和2年 3月7日~3月15日	40人	令和元年 11月7日
4 フィリピン(2次)	令和2年 3月13日~3月20日	120人	令和2年 1月14日
5 中国	令和2年 3月23日~3月31日	80人	令和2年 1月23日

(特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	令和2年 1月17日~1月26日	36人	令和元年 11月18日
2 東部ニューギニア	令和2年 2月12日~2月19日	36人	令和元年 12月12日
3 ミャンマー	令和2年 2月25日~3月4日	36人	令和元年 12月23日

本会への

賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。
なお、大変恐縮ではございますが都道府県名にについては、送金方法により居在が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛同名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
百々暁子、田中喜代美、小原竹子、澤田早苗、坂巻素子、神田朋幸、中野典子、向畑好男、井出行則、丹下徹、土井由子、山本明敏、高橋通泰、秀平良子、藤原健三郎(以上、九月一日から九月末日まで) 皆様からいただきました

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

した賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。

西部ニューギニア大規模暴動で中止
西部ニューギニア慰霊友好親善訪問団(九月実施予定分)は、訪問予定地域のパプア州方面の各地において、デモや大規模な暴動が八月中旬より発生したため、団員の安全確保が最優先と考え、八月二十九日中止となった。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

開館20周年を記念して 特別企画展開催 14035人が来場

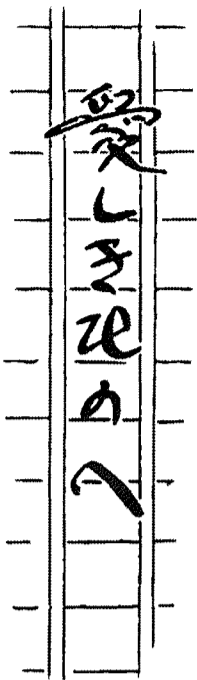
昭和館

昭和館で、七月二十日から九月八日にかけて、開館二十周年記念事業として、特別企画展「受け継がれる想い」資料に見る戦中・戦後の暮らし」と企画展「昭和館二十年の足跡」が開催された。特別企画展は一万四千三十五人、写真展は一万三千二十二人が来場し、幅広い年代から好評を博した。

開館二十周年を迎えた
昭和館では、特別企画展「受け継がれる想い」資料に見る戦中・戦後の暮らし」と企画展「昭和館二十年の足跡」が開催された。特別企画展は一万四千三十五人、写真展は一万三千二十二人が来場し、幅広い年代から好評を博した。

没者遺児が描いた母親と二人の絵や、引揚げの際に紙幣を隠していた二重底の弁当箱などを通して見えてくる「家族の物語」と、制服や教科書、ランドセルなどを通して戦中・戦後の子どもたちの暮らしが見えてくる「学校の物語」を軸に紹介された。

第二部の「コレクション紹介」では、公開機会の少ない資料を「遊び」「兵事行政資料」「代用品」「伝單」「オキユパイロ・ジャパン」(占領下の日本製製品)などテーマ別に展示された。



愛児への手紙

陸軍上等兵 孕石 春二

昭和二十年十月十一日
中国漢口 第五百五十八兵站病院にて戦病死
愛知県名古屋市中区天塚町出身 三十五歳

愛児よ
どうか不孝なる人から幸福なる人になり、お母さんをしてあげてください。それにはお母さんのいひつけをよく守り、お母さんのよき相談相手になり、決して心配させないでください。それをお父は希望します。ひいては成人するにつれて、名誉ある家族の名を辱めざること、呉々もお母さんの云ひつけをよく守り、よき相談相手になり孝養していただきたい。

清く美しき香りある梅花の如く咲き誇り来たれよ。強く正しく清く、お母さんの云ひつけをよく守り心配させぬこと。これが父に対しての孝、ひいては忠となる。日本の根本は忠孝にあり。

愛児よ
すこやかに 強く 清く 正しく

昭和十八年十月二日

父より
愛児殿
【原文のまま】
【令和元年十月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

戦後の暮らしを後世に伝える昭和館の事業は、昭和・平成を経て令和となり、ますます重要性が増していることを感じさせる内容となった。

2階の広場で同時開催の企画展「昭和館二十年の足跡」では、二十年の事業を振り返り、昭和館としてこれまで開催してきた特別企画展、写真展、企画展のチラシが一堂に展示された。

開催期間中は、テレビ、新聞など多くのメディア

青年部の参加者募集

ファイリピン戦跡慰霊巡拝

日本遺族会はファイリピン戦跡慰霊巡拝を本会青年部が主体となつて企画し、青年部事業の一環として実施する。戦争の記憶を風化させないため、慰霊巡拝を体験し、

遺族会後継者の育成を目的とした本事業への青年部(孫・ひ孫・甥・姪等)の参加者を募集している。募集要項は次のとおり。

▼実施時期 令和二年一月九日(木)から一月



特別企画展の展示資料を熱心に見学する来場者。昭和館。

3県で遺留品返還

OBONソサエティ

本会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還活動をしているOBONソサエティから本会に照会があつた遺品について、遺族が判明し各地で返還されている。

福井県では、大野市出身で西部ニューギニアのビアク島で戦死した石田五十三さんの日章旗が長男の治さんへ返還された。日章旗を保管していたのは米コロラド州在住

愛知県では、米アリゾナ州のジョー・リチャードソンさんがインター

岩手県では、硫黄島で戦死した花巻市出身の瀧田清吾さんの遺品が甥の浩治さんに返還された。

十三日(月)の四泊五日。定

▼実施地域 ルソン島マニラ及び東方山地、クラーク等。レイテ島オルモック、リモン峠、カンギボット山等の二班を予定。

▼募集人員 40人(予定)

遺族以外の青年部員等の参加も可能。

▼参加費用 十五万円程度

▼参加資格 戦没者の孫、ひ孫、甥、姪等(青年部員及び遺族会後継者)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会から参加者に対し助成の事務局へ。

九段短歌

選者 安元 百合子

戦没の兵らの叫ぶ声のごとくパアの浜に怒濤打ちよす
沖繩の慰霊の式に小六が朗読せし詩「本当の幸せ」

千葉市 石橋 嘉子
南相馬市 柴田 征子
浦安市 小林 和代
黄泉の里季節の便り出せぬまま平和の礎で父の名をぞ

赤紙を語る人なき世となりて此の日記を繰り返し読む
慰霊の日黙祷すればこの年も目を射るごときハイビスカスの赤

玉名市 桑野 睦子
青森県 田中 恭子

地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

▼三重県 7月15日 女性部結成65周年記念事業・靖国神社に千羽鶴奉納(100人)

▼富山県 8月2日 忠霊塔合葬戦没者二万八千余柱の慰霊祭(450人)

▼滋賀県 8月20日 滋賀県下戦没者慰霊祭(110人)

▼福井県 8月24日 福井県戦没者追悼式(2千人)

▼千葉県 8月8日 令和元年度君津4市遺族会研修会(113人)

▼徳島県 7月10日 8月7日 第8回特別企画展「ヒロシマ原爆展」(7973人) 8月10日 第59回語り部事業(35人)



購読料据置きのお知らせ
令和元年十月一日より消費税率が十パーセントに引き上げられましたが、日本遺族通信、年間購読料金五百六十円は、据え置きとさせていただきます。

お詫び
本紙9月(第825号)発行の4面「九段短歌」の名前で柴山征子氏と表記しました。が、正しくは「柴田征子」氏の誤りでした。ここに訂正し深謝いたします。